

三重のニューズレター第 89 号



多度のイヌナシ

平成24年 5月30日発行 第89号 目次

1. 事務局より

2. おらが団体を知っとくれ!

『志摩自然保護官事務所』 M.S

個人寄稿

・『ネイチュア・フィーリング』 O.A

・『ボランティア募集! 川の先生になろう!』 T.H

・『川づくり会議みえ 第10回総会&記念講演会』 K.N

4. 日程のお知らせ

1. 事務局より

会員の活動をサポートする助成金について

3 年目となりました会員の皆さんの活動をサポートする助成金システムです。今年度も助成する件数は 8 件、金額は 2 万円となっています。案内を熟読の上、ご応募ください。

「観察会は初めてなので段取りするのに知恵を貸して欲しい」「当日の運営に協力して欲しい」など活動を開始するにあたってサポートが必要でしたら事務局へ連絡ください。



H24年度 自然観察指導員三重連絡会活動助成案内

目 的



会員による自然観察会をはじめとする各種活動が活発に行われるよう予算面においてサポートすることを最大の目的とする。得に「はじめの一步」を踏み出したい会員への立ち上げ支援を目指したものであるが、会員が継続して行っている活動への支援も行う。

助成内容

会員の活動（自然観察会・調査・研究・保護 ）において、2 万円を助成する。

年間 8 件を上限とし、助成するのは 1 団体(個人)あたり 1 件 / 年以下とする。

.4 つの活動にそれぞれ 2 件を目安として 8 件とした。ただし審査において偏りは考えない。

助成条件

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日までの活動における申請を受け付ける。

会員の活動であれば申請は可能。助成金の使い道は問わない。

報告書の締切は平成 25 年 4 月 10 日（締め切り後の提出は助成が行えません）

申請方法

別紙申請書に必要事項を記述し下記に郵送またはメールを送る。

名張市東町 3 4 2 2 ガレット S 2 自然観察指導員三重連絡会事務局 前田竜矢

ryunosk1976@gmail.com

申請書は HP よりダウンロードできます。（<http://nacsmie.web.fc2.com/>）

提出期限

平成 24 年 6 月 30 日（土）

審査日 平成 23 年 7 月 14 日（土）運営委員会内

審 査

内容が当助成の目的に沿ったものか役員で協議し助成を決定。件数が多い場合は抽選。審査結果は申請用紙に記載の連絡先に連絡します。

〈助成にあたって〉

助成を受けた場合は「自然観察指導員三重連絡会」を後援団体としてください。実施後は運営委員会に報告書を直接提出してください。

運営委員会に参加いただくこととなりますので交通費は支給されます。

報告書と引き換えに助成金を渡しします。どうしても無理な場合は連絡下さい。報告書は写真・グラフ等を交え、A4に1枚以上でまとめてください。（指定はしません）

報告書はニュースレター、HPにて随時会員に紹介します。

1年分の報告書は事務局でまとめ、Nacs-J「自然保護」等、アピールできる場へ投稿します。

報告書は会員を対象とした勉強会等での講師依頼の参考とします。

2 「おらが団体を知っとくれ」

環境省中部地方環境事務所志摩自然保護官事務所
アクティブ・レンジャー M.S

「志摩自然保護官事務所」

平成 21 年 11 月に指導員の講習を受講してから 2 年半が過ぎました。現在は、環境省のパークボランティアのみなさんや横山ビジターセンター（志摩市阿児町）の職員の方々といっしょに、伊勢志摩国立公園全域をフィールドにした自然観察会や展望台でのガイド活動を行っています。そこには、地元に住む子どもたちも多く参加してくれているのですが、いつも気になっていたのが、自分たちの住んでいるところが国立公園に指定されている場所だと知らない子がたくさんいることでした。

ということで、そんな状況を変えるべく、私の勤める志摩自然保護官事務所では、昨年度より主に地元の小中学校を対象とした「出前講座」を始めました！地元の身近な自然環境や環境問題を題材に、地域の自然を知ることを通して、伊勢志摩国立公園への理解を深めてもらおうというものです。

昨年度は志摩市にある船越小学校で、「国立公園の自然を守るレンジャーの仲間になってほしい！」と呼びかけ、4年生の子どもたちを対象に1年間かけて出前講座を行いました。学校近くの前浜（まえはま）海岸は、アカウミガメの上陸が見られる場所で、沖合にはカンムリウミスズメやウミネコが飛来する三頭山（さんとうざん）があり、国立公園の第3種特別地域に指定されています。

その前浜では、「海岸線の長さ班」「動物班」「海浜植物班」「漂着物班」に分かれ調査活動を行いました。毎年清掃活動をしていることもあり、子どもたちにとってはなじみのある海岸だったので、「動物なんかおらんよ～」「石がいっぱいあるから、植物は生えないんじゃない？」と予想を立てていたのですが、いざ調査してみると、堤防近く一面に生えたハマダイコンやハマヒルガオ、岩場にくっついているたくさんの貝やイソギンチャク、カニなどにビックリ！そして、そんな場所に漂着するさまざまな海ごみ。後日行った発表では、「前浜をもっときれいにしていきたい！」という声



たくさん聞かれました。調査で自分たちが目にしたことを通して、それぞれ前浜について考えてくれた様子でした。1年間の授業を経て、晴れて立派な「船小レンジャー」となった子どもたちはいま、地域のごみを拾ったり、植物の観察をしたりとその後も自分たちのできることを考えながら活動してくれています。

今後も、さまざまな学校で実施していく予定です。この授業を通して、今ある自然を将来に残していけるよう、いっしょに考えていける仲間がたくさん増えていくと嬉しいなあと思っています。区域内の学校で、「伊勢志摩国立公園」について学ぶ授業が定着していくよう日々奮闘しています。

環境省中部地方環境事務所「出前講座」のページ

http://chubu.env.go.jp/nature/mat/m_4.html

船越小学校での授業の様子も紹介しています

3. 個人寄稿

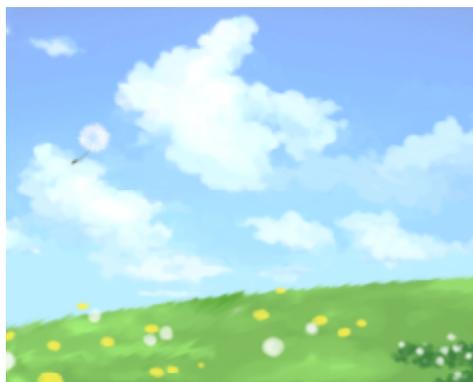
『ネイチュア・フィーリング』

O.A

自然観察指導員の皆様なら、この言葉をどこかでお聞きになったことがあるでしょう。日本自然保護協会の講習会に参加すれば、参考図書として同会発行の同名の書籍がありますよね。私が初めてこの言葉に出会ったのも、その書籍を手にとった時でした。

その内容は、ご承知のとおり、体の不自由な方、いわゆる障がいをもった方と、共に行う自然観察会というものです。書籍の中では主に、視覚障がい者、聴覚障がい者の方との観察会を行うときに、まず安全面でどのような配慮が必要か、そしてどのように観察を行うのか、その方法が記載されています。しかし、ネイチュア・フィーリングの概念と実際に行われているのは、障がいの別や程度などは特に関係なく、また、障がいのある方のみを対象とするのではなく、障がい者と介助者、そのほかの健常者が共に自然に親しみ、ふれあい、その恩恵を享受するというものだそうです。

感覚というのは人それぞれ違うように、障がいのあるなしというのも人それぞれ、さらにその程度も人それぞれです。自然を前に私たちは一人一人感じ方が違うわけです。それを伝え合うことによって、自分以外の人の感じ方も知ることができる、それははっとするような発見であり、そしてその時、参加者同士がお互いに深い理解をすることができるそうです。



私は上野森林公園で勤めていますので、近隣の福祉施設の方の利用もお受けしています。その中で、視覚障がいのお年寄りの団体利用のとき、何もわからないまま園内をご案内したことがあります。その時は、歩きながらマイクを持ち、短い距離の森までご案内する途中の風景や植物の説明をしたのと、森の中に誘導してからは、落ち葉の積もる林床の感覚や、木陰に入ると感じる温度差、顔に当たる風の感覚を尋ねたりなど、そのとき思いつく精一杯のことを試みました。どのくらいの方が、楽しんでくださったかはわかりませんが、その時のことで覚えているのは、ある女性が森の中

で触れた笹に気づき、手にとって上手に草笛を作り、そのあと歩きながら鳴らしては、子供の時にこうして遊んだと楽しそうに話しておられたことです。その方は、草笛を作ったのは、子供のとき以来だとおっしゃっていたので、森の中に入ってはじめてその記憶がよみがえったようでした。

以下は私の夢ですが、上野森林公園は伊賀市のゆめポリスという市街地に隣接し、立地条件が恵まれており、遠くへ足を運ばずとも里山の豊かな自然と触れ合うことができ、あるいは、他の三重県内から、さらに他府県からでも名阪国道を使えばアクセスは容易です。また園内は、急な坂道や悪路は特になく、お年寄りから子供まで安全に歩いていただくことができます。その上野森林公園で、ネイチャー・フィーリングを開催し、たくさんの障がいをもった方が、日頃の生活の中で感じるストレスを癒すことのできる場となっていければ、そして私たちも一緒にいろいろな気づきをさせていただければ嬉しいと思っています。

・『ボランティア募集 川の先生になろう！』

四日市市環境学習センター T.H

子どもたちに川にどんな生きものがいるのか、一緒に調査をする「川の先生」を募集します。子どもたちに川の魅力を伝える指導ボランティアとして活動してみませんか？経験がなくても、研修を活用して、実践しながら学ぶことができます。



【対象】 18歳以上の方
四日市市で開催される川の生きもの調査（5～9月の平日と夏休み中の土日）に年1回以上参加する意思がある方
下記の研修に参加ができる方

【研修日時】2012年6月30日（土）10時～15時半

【研修場所】四日市市内部地区市民センター（四日市市采女町857番地1）

【研修内容】午前：伊勢湾と四日市の河川環境（講義）
四日市大学環境情報学部教授 千葉賢氏
午後：水生生物調査とは・実践研修
四日市市環境学習センター職員

【締め切り】6月18日（月）

事前に持ち物などの案内をお送りします



・川づくり会議みえ 第 10 回総会 & 記念講演会

川づくり会議みえ事務局 久世憲志

川づくり会議みえでは下記のとおり総会及び記念講演会を開催いたします。皆様お誘いあわせのうえご参加ください。一般参加も OK です。お待ちしております。

日時 平成 24 年 7 月 7 日 (土)

14 時 30 分 ~ 受付

14 時 45 分 ~ 総会

15 時 30 分 ~ 16 時 50 分 記念講演会 (資料代 1000 円)

17 時 00 分 ~ 意見交換会 (3 千円程度予定)

場所 アスト津 4 階「研修室 A」 近鉄・JR「津駅」東出口より北方向徒歩 1 分

総会 (14 : 45 ~ 15 : 15)

記念講演会 (15 : 30 ~ 16 : 50)

資料代... 1000 円 一般の方の参加も大歓迎です。

テーマ 「博物館の使い方」

講師 布谷知夫さん 三重県立博物館館長

講師プロフィール

京都大学大学院農学研究科中退の後、大阪市立自然史博物館学芸員、琵琶湖博物館開設準備室、同博物館学芸員、2009 年の退職後、同博物館環境教育センター所長を経て、2011 年 4 月より三重県立博物館館長。

もともとは植物生態学専門の学芸員、人の暮らしや民俗などに対する興味が深くなり、現在は博物館と人のかかわりのあり方を専門としている。三重県立博物館では人に使ってもらえる博物館を目指したい。

第 10 回総会 & 記念講演会 参加申込は下記の事項をメールにて事務局まで。

7 月 3 日締め切り

川づくり会議みえ事務局・久世 メール kuze2@bronze.ocn.ne.jp

お名前 ご住所 連絡先電話番号 メールアドレス

以下、選択ください。

総会に 参加する / 参加しない

記念講演会に 参加する / 参加しない

意見交換会に 参加する / 参加しない

会員・一般の別 会員 / 一般

連絡事項 事務局への連絡事項、ご意見など

4. 日程のお知らせ

「このページに載せてほしい」という催しは、事務局まで連絡を！

運営委員会		三重連絡会 運営委員会	
日時	7月14日(土) 14:00~17:00		
場所	四日市市環境学習センター		
どなたでも参加 OK です。一緒に三重連絡会のことを考えていただけませんか？			

投稿をお待ちしています。

自然観察・自然保護・環境保全を推進する観点での内容で、観察報告やエッセイ、イラスト、写真、漫画など、紙に印刷できるものであれば表現方法は自由です。

原稿の返却をご希望の方は、投稿時にお申し付け下さい。
掲載したレポートや案内などは連絡会のホームページにも掲載します。

なお、ホームページに掲載する場合は、観察会や催し物の案内を除き、原則として住所、氏名、その他の個人情報、個人が特定できない記述(例えばイニシャルなど)に変更します。

宛先は事務局です。 ryunosk1976@gmail.com

ホームページの掲示板での意見交換にもご参加下さい。
URL <http://nacsmie.web.fc2.com/>

三重連絡会ではメーリングリストにて情報の交換をしています。
メーリングリストへの参加をご希望の方も事務局までご連絡ください。

自然観察指導員三重連絡会

会長 白鳥 敏夫

事務局 前田 竜矢

〒518-0711

名張市東町3422ガレットS2
090-5007-6564